



三菱ガス化学株式会社

2011年9月14日

「未来事業創出プロジェクトグループ」設置について

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：酒井和夫、以下「MGC」）は、現中期経営計画『MGC Will 2011』の基本方針であります『新規製品の創出と育成の加速』の達成に向け、『新規事業を見据えた新規テーマの創出』を目標に、昨年6月25日付で「未来テーマ創出委員会」を設置いたしました。このたび、全社的に取り組むテーマの選定が終了いたしましたので、活動組織として社長直轄の「未来事業創出プロジェクトグループ」を設置し、今後以下のような内容にて、研究開発を推進してまいります。

新組織は、①新しいコア事業を生み出すこと、②MGC全体の総合力、カンパニー間のシナジーを最大限に生かし成功に導くことを使命とし、2011年10月1日に発足いたします。

本プロジェクトでは、探索から研究、開発、試作、量産、事業化までを一貫して行い、『2021年MGCグループのありたい姿』の実現に向け、新規事業創出分で1,000億円以上の売上を目標といたします。

プロジェクトグループは、研究活動を行うチームと活動をサポートする企画開発チームで構成いたします。大型新規事業を目指す新規構造材料、次世代電池材料、医療包材ソリューションの3チームと、既存事業周辺の成長市場を目指す2チームの計5チームでまずはスタートしてまいります。研究開発は全社横断的な推進のため、国内3カ所の研究所を中心とし工場の研究部門を含めた体制で臨みます。

新規事業を目指します3チームの目標は以下の通りです。

- 1) 新規構造材料：MGCのエンジニアリングプラスチックや熱硬化・熱可塑性樹脂の技術・製品をベースに、これまでにない高性能なプラスチック材料を創出し、高強度な軽量構造材料をターゲットに、モノマーからポリマーまでの一貫生産の実現を目指します。
- 2) 次世代電池材料：リチウム二次電池の部材をターゲットに新規無機粉体材料をMGC所有の触媒製造技術や電池の評価技術を用い、開発してまいります。
- 3) 医療包材ソリューション：脱酸素剤「エージレス®」事業における知見やガスバリア性樹脂などの熱可塑性樹脂の開発技術を用い、医薬品の包装材料開発を目指します。将来的には、包装材料のバリエーションの形成を図るとともにソリューションビジネスへの展開も目標といたします。

その他、既存事業周辺の成長市場を目指し、フィルム・シート及びライフサイエンスの分野においてもチームを組み、活動してまいります。

来年4月より新たにスタートする次期中期経営計画では『新規事業の創出と育成』を引き続き重点課題に掲げ、取り組む方針であり、事業部門主体で推進する既存周辺分野と、「未来事業創出プロジェクトグループ」にて全社的視点で推進する新規分野でそれぞれ新規事業の創出・育成を目指します。

今後も、グループ会社を含めたMGCが有する多種多様な技術と市場が求める機能との融合、及びグループ会社を含めた事業間シナジーの創出を図るため、継続的に有望テーマの選定に取り組んでまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

広報IR部

TEL : 03-3283-5041